

学修時間の実態把握 に関する報告書 (2019年度春学期)

清泉女学院大学人間学部

2019/ 8/31

目的

- 清泉女学院大学の授業科目における学修実態の把握
 - 学科・コース，配当年次
- 本学の教学マネジメント体制における，教育課程の編成に関する全学的な方針の検討への基礎データとして活用すること

調査概要

- 調査時期：2019年7月
- 調査対象：
 - 清泉女学院大学人間学部大学生を対象とした。
 - 分析対象としたのは、2019年度春学期に開講した科目のうち110科目※。内訳は以下のとおりである（コース別は次項）。

表1 学年別にみた分析対象

		講義	実習	演習	
人間学部	1年	17	0	14	31
	2年	24	4	12	40
	3年	12	1	16	29
	4年	0	0	10	10
	学年全体	53	5	52	110

※通年科目等、アンケートを実施しなかった授業もあるため、実際の開講科目数とは異なる

表2 学年・学科・コース別にみた分析対象

学科	コース	配当年次	講義	実習	演習	
心理COM	心理	1年	2	0	0	2
		2年	4	0	2	6
		3年	4	0	8	12
		4年	0	0	4	4
		学年全体	10	0	14	24
	英語	1年	2	0	2	4
		2年	3	2	5	10
		3年	4	1	6	11
		4年	0	0	3	3
		学年全体	9	3	16	28
	現代	1年 [*]	1	0	0	1
		3年	3	0	2	5
		4年	0	0	3	3
		学年全体	8		9	17
文化 [*]	1年	4		1	5	
	2年	10		3	13	
	学年全体	14		4	18	
共通教育	1年	8	0	11	19	
	2年	7	2	2	11	
	3年	1	0	0	1	
	学年全体	16	2	13	31	

※現代コース1年次科目は2017年度生までが対象。文化学科は2018年度スタートのため、2年次科目まで。

調査概要

- 調査方法：授業改善の一環として各授業において行われている「授業改善アンケート」における項目として学修時間を調査した。アンケートは無記名アンケート方式で行った。
- 調査項目：（学修時間と学習行動について）
- Q2 毎回平均してどのくらいこの授業の予習復習を行いましたか？
 - 1：0時間
 - 2：30分程度
 - 3：1時間程度
 - 4：1時間半程度
 - 5：2時間以上
- 各選択肢の間隔は30分であり均等であるため、間隔尺度として用いた。また、1を「0分」、2を「30分」と学修時間の推計量として用いた。

学修時間の記述統計（全体）

- 学部全体における学修時間の平均値は、**2.35（推計40.5分）**であった。
- 学修時間は、配当年次が高い場合、演習科目の場合に長い傾向にあった。

表3 人間学部全体の学修時間の平均（一回平均 学年別）

	講義			実習			演習			総和		
	M	SD	科目数	M	SD	科目数	M	SD	科目数	M	SD	科目数
1年	1.92	0.34	17				2.15	0.50	14	2.02	0.43	31
2年	2.13	0.49	24	2.38	0.35	4	2.49	0.47	12	2.26	0.49	40
3年	2.47	0.60	12	3.33		1	2.48	0.55	16	2.51	0.57	29
4年							3.30	0.62	10	3.30	0.62	10
全体	2.14	0.51	53	1.92	1.02	8	2.55	0.65	52	2.35	0.61	110

1：0時間、2：30分程度、3：1時間程度、4：1時間半程度、5：2時間以上

学修時間の記述統計（共通教育科目）

- 共通教育科目における学修時間の平均値は、**2.13（推計33.9分）**であった。
- 学修時間は、配当年次が高い場合に長い傾向にあった。

表4 2019年度春学期、共通教育科目の学修時間の平均（一回平均 学年別）

	講義			実習			演習			総和		
	M	SD	科目数	M	SD	科目数	M	SD	科目数	M	SD	科目数
1年	1.88	0.35	8				2.16	0.55	11	2.04	0.48	19
2年	2.32	0.51	7	2.60	0.36	2	1.82	0.15	2	2.28	0.49	11
3年	2.30		1							2.30		1
全体	2.09	0.46	16	2.60	0.36	2	2.11	0.52	13	2.13	0.48	31

1：0時間、2：30分程度、3：1時間程度、4：1時間半程度、5：2時間以上

学修時間の記述統計（心理コース科目）

- 心理コース科目における学修時間の平均値は、**2.39（推計41.8分）**であった。
- 学修時間は、演習科目の場合に長い傾向にあった。
- 3年次にやや少なく、4年次に多くなる傾向にあった。

表5 2019年度春学期、心理コース科目の学修時間の平均（一回平均 学年別）

	講義			実習			演習			総和		
	M	SD	科目数	M	SD	科目数	M	SD	科目数	M	SD	科目数
1年	2.08	0.26	2							2.08	0.26	2
2年	2.10	0.09	4				2.70	0.47	2	2.30	0.38	6
3年	2.13	0.48	4				2.06	0.38	8	2.08	0.40	12
4年							3.63	0.60	4	3.63	0.60	4
全体	2.11	0.30	10				2.60	0.83	14	2.39	0.69	24

1：0時間、2：30分程度、3：1時間程度、4：1時間半程度、5：2時間以上

学修時間の記述統計（英語COMコース科目）

- 英語コミュニケーションコース科目における学修時間の平均値は、**2.60**（推計48分）であった。
- 学修時間は、配当年次が高い場合に長い傾向にあった。

表6 2019年度春学期、英語COMコース科目の学修時間の平均（一回平均 学年別）

	講義			実習			演習			総和		
	M	SD	科目数	M	SD	科目数	M	SD	科目数	M	SD	科目数
1年	2.16	0.18	2				2.30	0.15	2	2.23	0.16	4
2年	2.06	0.30	3	2.17	0.24	2	2.81	0.21	5	2.46	0.43	10
3年	2.58	0.83	4	3.33		1	2.84	0.20	6	2.79	0.52	11
4年							2.83	0.76	3	2.83	0.76	3
全体	2.31	0.59	9	2.56	0.69	3	2.76	0.37	16	2.60	0.51	28

1：0時間、2：30分程度、3：1時間程度、4：1時間半程度、5：2時間以上

学修時間の記述統計（現代COMコース科目）

- 現代コミュニケーションコース科目における学修時間の平均値は、**3.01**（推計60.2分）であった。
- 3年次科目が中心のため、学修時間は全体的に長かった。

表7 2019年度春学期、現代COMコース科目の学修時間の平均（一回平均 学年別）

	講義			実習			演習			総和		
	M	SD	科目数	M	SD	科目数	M	SD	科目数	M	SD	科目数
1年	2.38		1							2.38		1
2年												
3年	2.83	0.39	3				3.11	0.56	2	2.94	0.42	5
4年							3.33	0.29	3	3.33	0.29	3
全体	2.71	0.39	4				3.24	0.37	5	3.01	0.45	9

1：0時間、2：30分程度、3：1時間程度、4：1時間半程度、5：2時間以上

学修時間の記述統計（文化学科科目）

- 共通教育科目における学修時間の平均値は、**1.98（推計29.3分）**であった

表8 2019年度春学期、文化学科科目の学修の平均（一回平均 学年別）

	講義			実習			演習			総和		
	M	SD	科目数	M	SD	科目数	M	SD	科目数	M	SD	科目数
1年	1.69	0.29	4				1.67		1	1.69	0.25	5
2年	2.04	0.62	10				2.25	0.39	3	2.09	0.57	13
3年												
4年												
全体	1.94	0.56	14				2.10	0.43	4	1.98	0.53	18


1：0時間、2：30分程度、3：1時間程度、4：1時間半程度、5：2時間以上

まとめ

- 人間学部の授業科目における、予習復習に関わる学修時間の推計値は40.5分であった。
- 学修時間は、配当年次が高い場合、演習科目の場合に長い傾向にあった。
- コース・学科の違いとして、英語コミュニケーション学科において学修時間が全体的にやや高い傾向があったが、全体的なパターンには違いはみられなかった。

今後の課題

- 各学年，各学科・コースの教育課程の編成や授業のあり方との関係性の分析
- 各科目において予習・復習に設定されている学修時間が達成されているか、課題が妥当であるかの検証。
- 学生の全体的な学習行動との関連性を検討していく必要がある
 - 学修時間データの有効活用化には，種々の個人データとの対応も検討すべき
 - 学修時間の時系列的変化
 - 学修時間と学業成績の関係
 - 学習に対する態度・意識



授業満足度の実態把握 に関する報告書 (2019年度春学期)

清泉女学院大学人間学部

2019/ 8/31

目的

- 清泉女学院大学の授業科目における授業満足度の把握
 - 学科・コース，配当年次
- 本学の教学マネジメント体制における，教育課程の編成に関する全学的な方針の検討への基礎データとして活用すること

調査概要

- 調査時期：2019年7月
- 調査対象：
 - 清泉女学院大学人間学部大学生を対象とした。
 - 分析対象としたのは、2019年度春学期に開講した科目のうち110科目※。内訳は以下のとおりである（コース別は次項）。

表1 学年別にみた分析対象

		講義	実習	演習	
人間学部	1年	17	0	14	31
	2年	24	4	12	40
	3年	12	1	16	29
	4年	0	0	10	10
	学年全体	53	5	52	110

※通年科目等、アンケートを実施しなかった授業もあるため、実際の開講科目数とは異なる

表2 学年・学科・コース別にみた分析対象

学科	コース	配当年次	講義	実習	演習	
心理COM	心理	1年	2	0	0	2
		2年	4	0	2	6
		3年	4	0	8	12
		4年	0	0	4	4
		学年全体	10	0	14	24
	英語	1年	2	0	2	4
		2年	3	2	5	10
		3年	4	1	6	11
		4年	0	0	3	3
		学年全体	9	3	16	28
	現代	1年 [*]	1	0	0	1
		3年	3	0	2	5
		4年	0	0	3	3
		学年全体	8		9	17
文化 [*]	1年	4		1	5	
	2年	10		3	13	
	学年全体	14		4	18	
共通教育	1年	8	0	11	19	
	2年	7	2	2	11	
	3年	1	0	0	1	
	学年全体	16	2	13	31	

※現代コース1年次科目は2017年度生までが対象。文化学科は2018年度スタートのため、2年次科目まで。

調査概要

- 調査方法：授業改善の一環として各授業において行われている「授業改善アンケート」における項目として授業満足度を調査した。アンケートは無記名アンケート方式で行った。
- 調査項目：（この授業について）
- Q11 総合的に、私はこの授業に満足した。
 - 1：そうは思わない
 - 2：あまりそう思わない
 - 3：どちらともいえない
 - 4：どちらかといえばそう思う
 - 5：そう思う

分析方法

科目ごとに項目得点の平均値を算出したうえで、学年、学科・コース、授業形態に分けて平均得点を算出した。

授業満足度の記述統計（全体）

- 学部全体における授業満足度の平均値は、**4.46**であり、高い傾向にあった。
- 授業満足度は、配当年次が高い場合、実習科目の場合に高い傾向にあった。

表3 人間学部全体の授業満足度の平均（学年別）

	講義			実習			演習			総和		
	M	SD	科目数	M	SD	科目数	M	SD	科目数	M	SD	科目数
1年	4.44	0.38	17				4.42	0.21	14	4.43	0.31	31
2年	4.34	0.42	24	4.75	0.22	4	4.36	0.41	12	4.39	0.42	40
3年	4.26	0.48	12	4.83		1	4.64	0.26	16	4.49	0.41	29
4年							4.78	0.36	10	4.78	0.36	10
全体	4.35	0.42	53	4.77	0.19	5	4.54	0.34	52	4.46	0.39	110

授業満足度の記述統計（共通教育科目）

- 共通教育科目における授業満足度の平均値は、**4.42**であり、高い傾向にあった。
- 授業満足度は、配当年次が高い場合に高い傾向にあった。

表4 2019年度春学期、共通教育科目の授業満足度の平均（学年別）

	講義			実習			演習			総和		
	M	SD	科目数	M	SD	科目数	M	SD	科目数	M	SD	科目数
1年	4.31	0.43	8				4.37	0.18	11	4.34	0.30	19
2年	4.59	0.39	7	4.67	0.24	2	3.99	0.80	2	4.50	0.47	11
3年	4.90		1							4.90		1
全体	4.47	0.43	16	4.67	0.24	2	4.31	0.32	13	4.42	0.38	31

授業満足度の記述統計（心理コース科目）

- 心理コース科目における授業満足度の平均値は、**4.38**であり、高い傾向にあった。
- 授業満足度は、1年次と4年次、演習科目の場合に高い傾向にあった。

表5 2019年度春学期、心理コース科目の授業満足度の平均（学年別）

	講義			実習			演習			総和		
	M	SD	科目数	M	SD	科目数	M	SD	科目数	M	SD	科目数
1年	4.64	0.08	2							4.64	0.08	2
2年	4.19	0.47	4				4.25	0.09	2	4.21	0.37	6
3年	4.00	0.28	4				4.46	0.25	8	4.31	0.33	12
4年							4.75	0.35	4	4.75	0.35	4
全体	4.21	0.40	10				4.51	0.30	14	4.38	0.37	24

授業満足度の記述統計（英語COMコース科目）

- 英語コミュニケーションコース科目における授業満足度の平均値は、**4.75**であり、全体的に高い傾向にあった。

表6 2019年度春学期、英語COMコース科目の授業満足度の平均（学年別）

	講義			実習			演習			総和		
	M	SD	科目数	M	SD	科目数	M	SD	科目数	M	SD	科目数
1年	4.82	0.14	2				4.63	0.26	2	4.72	0.20	4
2年	4.73	0.19	3	4.83	0.24	2	4.59	0.16	5	4.68	0.19	10
3年	4.63	0.43	4	4.83		1	4.84	0.13	6	4.76	0.28	11
4年							5.00	0.00	3	5.00	0.00	3
全体	4.70	0.30	9	4.83	0.17	3	4.77	0.21	16	4.75	0.23	28

授業満足度の記述統計（現代COMコース科目）

- 現代コミュニケーションコース科目における授業満足度の平均値は、**4.42**であり、高い傾向にあった。
- 授業満足度は、3年次の講義科目においてやや低い傾向にあった。

表7 2019年度春学期、現代COMコース科目の授業満足度の平均（学年別）

	講義			実習			演習			総和		
	M	SD	科目数	M	SD	科目数	M	SD	科目数	M	SD	科目数
1年	4.88		1							4.88		1
2年												
3年	3.89	0.28	3				4.73	0.03	2	4.23	0.50	5
4年							4.58	0.52	3	4.58	0.52	3
全体	4.14	0.54	4				4.64	0.38	5	4.42	0.50	9

授業満足度の記述統計（文化学科科目）

- 文化学科科目における授業満足度の平均値は、**4.21**であり、高い傾向にあった。
- 1年次科目において満足度がやや高い傾向にあった。

表8 2019年度春学期、文化学科科目の授業満足度の平均（学年別）

	講義			実習			演習			総和		
	M	SD	科目数	M	SD	科目数	M	SD	科目数	M	SD	科目数
1年	4.30	0.27	4				4.62		1	4.36	0.27	5
2年	4.10	0.31	10				4.31	0.54	3	4.15	0.36	13
3年												
4年												
全体	4.16	0.30	14				4.39	0.47	4	4.21	0.34	18

まとめ

- 人間学部の授業科目における、授業満足度の平均値は4.46であり、満足度が高い傾向にあった。
- 授業満足度は、配当年次が高い場合、実習科目の場合に高い傾向にあった。
- コース・学科の違いとして、英語コースの満足度の高さが際立っていた。

今後の課題

- 各学年，各学科・コースの教育課程の編成や授業のあり方との関係性の分析
- カリキュラム編成，授業への活用。
- 授業満足度と学修成果との関係性の検討。